

日吉議員発言で紛糾

水保 懲罰特別委を設置

定例水保市議会五日目の十七日は午前十時から本会議を開き一般

質問に移ったが、質問二番目に立った日吉フミコ議員(社会)の発言をめぐってもめた。

前島昭光議員(自民)質問のあと日吉議員は水保病問題に絞って質問した。そのおもな内容は①浮池市長は水保病補償処理委の最初

あつせん案を見てどう思ったか。あつせんは一役買ったのはどうい

う理由か②水保病患者家庭のうち訴訟派はいまからが大変だ。生活資金の貸し付けや裁判に行くため

のバス代は援助しないか、一任派だけに援助していると思わないか

③処理委のランク付けに矛盾があつたのではないかなどを質問した。

これに対し浮池市長は①あつせん案が出たときは不当に安いと思つた。だから積み上げるよう努力

した。あつせんは一役買ったのは一任派の一致した要望で頼まれたのだ②生活資金の貸し付けは世帯更生資金の利用などもある。バス

代などの援助は慎重に取り扱いたい。昨年の市議会で第三者機関を設けて一刻も早く補償してほしいとの決議がなされており、その趣に沿って行動しているものであり、一任派だけを援助しているわけではない③ランク付けは処理委の依頼で熊本市に出来た症状諮問委員会のランク付けであり、処理委もその趣に沿っているように(大橋市立病院長)と答えた。

このやりとりの中で日吉議員が「チツソ資本の応援によつて当選した浮池市長」「殺された人間の価値を安く売った浮池市長」など

のことはをばさんだため浮池市長が不穏なことばだとして取り消しを要求して紛糾した。

午後六時すぎからの本会議で浮池市長が発言取り消しの要求を撤回したのに代わり、斎所議長が日吉議員に対し撤回通告をしたが日吉議員は「撤回の意思はない」と断つたので、さらに同議長は議長職権により撤回命令を出した。

これで議事録から削られる結果になった。引き続き与野派議員から、懲罰決議が提案され、同決議も成立し、懲罰特別委員会(委員九人)を設置した。このあと早馬

雄二(同友之)吉井喜三郎(自民)森岩雄(社会)が質問に立つて深夜散会した。

日吉議員の話 水保病で死んだ人に対するおわびのことばだった。真実を言っているのがなぜ悪いのか。そうした発言を推える力が水保にはある。